

令和 5 年度事業計画

I 事業方針

本会は、健康でたくましい県民の育成を図るため、県民総スポーツならびに競技力向上を目指して積極的に諸事業を実施する。令和 3 年度から 5 年間の中期計画として「基本計画」を策定し、「トップアスリートの養成」「1 県民 1 スポーツの推進」の施策を掲げている。

1. 第 73 回国民体育大会（福井国体）で総合優勝した高い競技力やレガシーを、関係機関・団体と連携して維持・向上し、第 77 回国民体育大会（栃木国体）では天皇杯 18 位の成績となり、天皇杯 10 位台という目標を達成することができた。次回の特別国民体育大会（鹿児島国体）でも栃木国体と同等の成績を目指す。冬季大会のスキー競技では、天皇杯 28 位と健闘したことで、本大会に弾みがついている。
2. 国民体育大会の本県開催により、県民の高まったスポーツへの関心をさらに確実なものとするため、地域スポーツの振興に努める。また、日本スポーツマスターズ 2023、ふくい桜マラソン 2024 の成功に向け、福井県との連携・協力を進める。

II 事業内容

1 競技力向上事業

(1) 競技力向上対策事業

本県の競技力向上を図るため、各事業を積極的に取り組む。

事業名	内容
国体強化対策事業	競技団体に対し、当年・次年大会に向けた強化費を補助する。
プレ強化事業	競技団体に対し、次年大会に向けた強化費を補助する。
アスリートの U・I ターン 推進事業	①県内の強豪高校の選手に対し、下宿費を補助する。 ②オリンピックを目指す県内選手に対し、活動費を補助する。
ふくいナショナルアスリート マルチサポート事業	スポジョブふくい等で県内就職した日本代表級の選手に対し、競技活動費を補助する。
トップ指導者育成事業	各競技団体で今後の中核的指導者になり得る若手指導者に対し、資質向上研修を実施する。
抜未来のアスリート発掘・ 育成事業	①合同競技体験会の実施 中学校に部活がなく、競技を広く体験する機会を提供する。 ②ふくいジュニアアスリートアカデミーの実施 トップアスリートを目指す子どもたちに対して、年間を通じて、スポーツに関する身体的・知的能力等を高める育成プログラムを提供する。 中学校に部活動がない競技（指導体制が整っているところに限る）のタレント発掘の実施 ③競技団体の備品整備 ふくいジュニアアスリートアカデミーに参画する競技団体に備品整備費を補助する。

ジュニア育成強化事業	①競技団体に対し、ジュニア選手の発掘・育成費を補助する。 ②競技団体に対し、年間を通じて活動する、U-15 セレクションチームの活動費を補助する。
籾小・中学生優秀クラブチーム強化事業	中央競技団体主催の全国大会に最も多く輩出しているクラブチームに対し、強化活動費を補助する。

(2) 積善会スポーツ振興事業

積善会助成金を活用し、少年選手のスポーツ振興に取り組む。

事業名	内容
ジュニアアスリートサポート事業	国際大会等に日本代表として出場するジュニア選手に対し、激励金を交付する。

(3) 関係会議等開催事業

スポーツ関係団体との連携・協力を図るため、諸会議を開催する。

会議名	内容
競技力向上対策委員会	国体に向けた競技力向上対策を検討する。
国体入賞対策会議（県と共催）	各競技団体と当年大会の上位入賞に向けた強化対策を確認する。 (令和5年6月)
国体結果検討会（県と共催）	当年大会における本県選手団の結果の総括および次年大会に向けた強化対策を協議する。(令和5年11月)
加盟団体理事長会議	競技力向上対策の具体的方策を情報提供する。(令和6年3月)

2 国体等派遣事業

(1) 国体派遣事業

国民体育大会・国民スポーツ大会に、本県代表として選考された監督・選手を派遣する。

大会名	会期	開催地
特別国民体育大会	令和5年10月7日～17日 <会期前実施> 水泳他：9月16日～24日	鹿児島県
第78回国民スポーツ大会冬季大会	<スケート・アイスホッケー競技会> 令和6年1月27日～2月3日 <スキー競技会> 2月21日～24日	北海道 山形県

(2) 北信越国体派遣事業

北信越国民体育大会等に、本県代表として選考された監督・選手を派遣する。

大会名	会期	開催地
第44回北信越国民体育大会	令和5年8月25日～27日 <会期前実施> カヌー他：5月7日～	新潟県
第78回国民スポーツ大会冬季大会 アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会	令和5年12月中旬	未定

3 スポーツ医科学サポート事業

(1) 医科学活用推進事業

成年・少年強化指定選手を対象に、スポーツ医科学の研究成果を取り入れた計画的な練習やトレーニングの導入、栄養管理、傷害予防、アンチ・ドーピング、メンタルトレーニング、リハビリ等の医科学サポートの実践を通して競技力向上を図る。

事業名	内容
スポーツ医科学に関する問診調査 およびメディカルチェック	国体候補選手（約 1,600 名）に対し、メディカル・医薬品サプリメント摂取状況・栄養摂取状況・心理面・プロフィールについてアンケートを取り、選手の状態把握に努める。より精密な検査や支援が必要な選手には 2 次検診を行ったり、個別支援を実施したり手厚いサポートを行う。
スポーツ医科学専門家の国体帯同 およびチームサポート	大会や練習会に医・科学委員会に所属する専門家を中心に派遣し、選手やチームへ医科学サポートを行う。きめ細やかなサポートを行い、最善の状態で開催される大会を迎えられるように支援を行う。
福井県スポーツ医科学研究大会	選手強化のために行った医科学サポートの報告やスポーツに関わる医科学的取組に関する研究発表を行う。選手の指導に関わる監督や強化担当者も参加できる体制を取ることで、指導者に必要なスポーツ医科学の知見を提供し、競技力向上につなげる。 今年度は令和 5 年 11 月 19 日(日)福井県医師会館にて開催

(2) 研修会等開催事業

国民体育大会に出場する選手を中心にドーピング防止教育や啓発を行う。また、競技団体や学校に心理、栄養、アンチ・ドーピング、女性アスリートサポートの出前研修会を行い、選手や指導者の意識高揚と知識の蓄積を図る。

研修会名	回数
アンチ・ドーピング研修会	年 3 回
(各種)出前研修会	年 10 回

(3) 未来のアスリート発掘・育成事業への医科学サポート

ふくいジュニアアスリートアカデミー選考会及びプログラムに各部会の専門家を派遣し、選考に係る測定結果の科学的分析や、アカデミー生、保護者への講義を行う。

部会	サポート項目	サポート内容
スポーツ科学者部会	選考会測定協力 結果分析	専門機材を使った科学的な計測を行い、選考対象者の測定結果を多角的に比較分析し、評価の一翼を担う。
スポーツドクター部会	プログラム講師	アカデミー生・保護者に対して、トレーニング科学、スポーツ生理学、スポーツメンタルトレーニング、スポーツ栄養学の講義や実技指導を行う。
スポーツ心理学者部会		ジュニア期に必要な知識の伝達や実践を通して、意識の高揚を図り、アスリートとしての健全な成長をサポートする。
スポーツ栄養学者部会		

4 競技会開催事業

(1) 県民スポーツ祭開催事業

県民の多様なスポーツニーズに応え、「1 県民 1 スポーツ」を推進するため、県下一円において 68 競技・種目による「県民スポーツ祭」を開催する。令和 2 年度から、福井国体・障スポの融合を継承し、「障がい者の部」を設けた。

区 分	開催期日	開催地
68 競技・種目	令和 5 年 4 月～令和 6 年 2 月	県下一円
総合開会式 みんなでスポーツフェスタ	令和 5 年 7 月 8 日	福井県営体育館

5 関係団体育成事業

(1) スポーツ振興事業

本会正加盟の市町スポーツ協会等や競技団体等が行うスポーツ普及振興事業に助成し、「1 県民 1 スポーツ」を推進する。

(2) スポーツ指導者協議会育成事業

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図るため、福井県スポーツ指導者協議会の育成・発展を推進する。

6 スポーツ指導者育成事業

(1) スポーツ指導者養成講習会事業

県内スポーツ指導者が適切・効果的な指導方法を学ぶため、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得講習会を開催する。

資格種類	講習会名
競技別指導者資格	コーチ 1 養成講習会（ソフトテニス、弓道）

(2) スポーツ指導者研修会事業

県内スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図るため、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修会を開催する。（年 2 回）

7 スポーツ少年団育成事業

県スポーツ少年大会の開催をはじめ、指導者の養成と資質向上ならびに母集団の組織整備等を推進する。

事業名	内 容
創立 60 周年記念事業	①記念誌を発刊する。 ②特別表彰式を開催する。 ③記念事業の冠を付けて諸事業を開催する。

第 50 回日独スポーツ少年団同時 交流事業	ドイツ国とスポーツ活動を中心に、相互の文化・習慣等に触れる交流・研修を実施する。(派遣のみ)
第 58 回福井県スポーツ少年大会	県内の複数競技スポーツ少年団員が一堂に会し、大会を通して交流する。(令和 5 年 9 月 3 日)
指導者および育成母集団研修会	指導者および団員保護者に対して、研修会を開催する。 (令和 5 年 9 月 30 日)
スタートコーチ(スポーツ少年団) 養成講習会	安全で効果的なスポーツ少年団活動を提供できるよう、必要最低限度の知識・技能を学べる講習会を開催する。(年 4 回)
アクティブ チャイルド プログラム(JSPO-ACP)普及促進研修会	アクティブ チャイルド プログラム(JSPO-ACP)を周知・普及するため、研修会を開催する。(年 3 回)
第 54 回北信越ブロックスポーツ 少年大会	北信越ブロックスポーツ少年団に所属するリーダーの資質向上を図る。(令和 5 年 8 月 4 日～6 日)

8 総合型地域スポーツクラブ育成事業

総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用開始を受け、登録に関する相談窓口や各種研修会の開催など、安定・自立したクラブ運営を目指し支援する。

事業名	内容
総合型地域スポーツクラブ 強化支援事業	①総合型クラブ関係者に対し、先進的な総合型クラブの事例を学ぶ研修会を開催する。 ②総合型クラブ関係者および市町行政担当者に対し、連携事業の展開を学ぶ研修会を開催する。
登録認証支援事業	総合型クラブが登録・認証できるよう支援する。
機能強化支援事業	総合型クラブに対し、さらなる発展に向けた事業費を補助する。
クラブアドバイザー配置事業	クラブアドバイザーを配置し、総合型クラブの創設から自立・活動まで支援する。
地域のスポーツ環境基盤強化 事業	地域のスポーツ環境の基盤を強化するため、地域課題解決に取り組む。

9 広報・情報提供事業

(1) 広報普及活動事業

国際大会や国体等における本県選手の活躍、事業活動内容、各種表彰等を広報するため、「スポ協ニュース」を発刊する。(年 3 回)

(2) スポーツ情報公開事業

ホームページを活用して、当協会に関する情報を積極的に公表するとともに、当協会の諸事業活動を周知する。

1 0 国際交流事業

(1)日韓スポーツ交流・成人交歓交流

日本スポーツマスターズ開催年に併せて、日韓両国の代表団員が互いの国を訪問し、様々な交流を行う。本会が日本スポーツ協会等と共同開催する。

区分	交 流 日	開 催 地
派遣	令和 5 年 4 月 27 日～5 月 3 日	大韓民国 慶尚北道
受入	令和 5 年 9 月 14 日～20 日	日本国 福井県

1 1 表彰事業

本県のスポーツ振興に著しく貢献したものを表彰する。

表 彰 名	対 象 者	表彰時期
スポーツ功労者賞 スポーツ功労団体賞	本会または加盟団体の発展のために長年尽力し、功績が顕著な個人・団体	令和 6 年 1 月
優秀選手賞	当年内に、全国大会ならびに国際大会で優秀な成績を収めた者	令和 6 年 1 月
優秀指導者賞	前項の優秀選手を育成した指導者	令和 6 年 1 月
国民体育大会賞	当年国体で、天皇杯および皇后杯得点に貢献した競技団体、監督、選手	令和 5 年 11 月
特別表彰	本県のスポーツ振興に長年にわたって尽力し、特に顕著な功績を残した者	令和 6 年 1 月

1 2 その他

(1)都道府県体育・スポーツ協会連合会中地区事務局長研修会の開催

本会が幹事県として、研修会を開催する。(令和 5 年 11 月 7 日～8 日)

(2)全国大会、ブロック大会および県大会の共催・後援

本会加盟団体等の主催大会を必要に応じて、名義共催・後援する。

(3)安全管理の強化の取り組み

「国民体育大会参加者傷害補償制度」「加盟団体の賠償責任保険」「スポーツ安全保険」への加入を促進する。

(4)スポーツ安全協会業務

スポーツ安全協会業務を本協会を受託する。